

空間デザイン学科 アドミッション・ポリシー

空間デザイン学科は、工学技術とデザインの基礎的能力をしっかりと身につけ、生活文化や環境を見据える広い視野に立って、PBL（Problem Based Learning：実践的な課題解決を通じた学修）で養ったものづくりの実践力で社会に貢献できる建築デザイナー、プロダクトデザイナーを育成します。そのために空間デザイン学科は、以下のような人物を求めます。

求める人物像

1. 自然科学の素養や文化・芸術、デザインに関する知識と、ものづくりに関心を持つ人
2. 協働で問題解決に取り組むための、コミュニケーション力と持続力のある人
3. 異文化への理解とグローバルな実践力を持ち、地域性を尊重しつつも幅広い活動領域を開拓できる人
4. 人間、社会、自然に広く関心を持ち、豊かな社会を実現するために貢献する意志のある人

入学前に学習しておくことが期待される内容

空間デザイン学科に入学するまでに、特に立体的な物体や空間についての正確な把握力、描写力の基礎を身に付けておくことが望ましいです。また、入学後のカリキュラムに対応するために、入学するまでに、以下に記した能力を身に付けておくことを求めます。

1. 芸術や歴史、地理など、文化全般に関する教養・知識
2. 言語（日本語および外国語）による、基本的な文章読解力、論理的な作文能力
3. 自分と他者の考えを互いにやりとりし、新しいアイデアを生み出すためのプレゼンテーションやコミュニケーション能力
4. 数理的な分析・考察のための、幾何学や統計学などの数学的知識
5. 物体にはたらく力の仕組み（運動の三法則）や光・音に関する物理的知識
6. 物質の組成や材料特性を理解するための、化学的知識
7. 動植物の生態やからだの構造に関する生物的知識
8. 地球環境や人間社会など、身の回りの物事についての幅広い関心や観察力